



# 全国釣竿公正取引協議会 第39回定時総会 議事録

1. 招集通知送付日 令和5年5月2日(火)
2. 開催日 令和5年5月17日(水) 15:00~16:30
3. 開催場所・方法 会場: 日本フィッシング会館 8階会議室  
東京都中央区八丁堀二丁目22番8号  
オンライン: オンライン会議システム Zoom  
※会場とオンライン会議システムをつなぎ、出席者は、  
会場またはオンライン上で賛否を表明した。
4. 会員数 63社
5. 定時総会の成立  
会則第18条第1項に基づき、過半数である62社(出席11社、委任状51社)が出席しているため、第39回定時総会は有効に成立した。
6. 議長選出  
会則第18条3項に基づき、藤井 治幸 会長が就任した。
7. 議事録署名人選出  
会則第23条に基づき、藤井 会長、出席者より塩澤 直人 副会長、橋本 俊哉 会計理事の3名を選出した。
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決結果  
(以降、頁数は定時総会資料の該当部分である)  
第1号議案 第39期(令和4年度)事業報告について(4頁~38頁)  
議長の指名により、事務局が資料に基づき第1号議案の報告を行った。  
1-1 庶務事項
  - ①会員数 63社 3社入会、1社退会  
<入会> 株式会社バイファール、株式会社R・H、TEX  
<退会> フィッシュ・アンド・ハート株式会社
  - ②認定書発行業務 新規認定238件、追加認定108件(合計346件)
  - ③公正マーク頒布事業 公正マーク 1,914,000枚  
警告表示マーク 31,000枚  
公正・警告表示マーク 239,000枚
  - ④会議開催回数 9回  
定時総会1回、理事会4回、総務委員会2回、調査指導委員会2回  
第38回定時総会終了後、4社の会員、4名の役員の表彰を行った。  
【会員表彰 10年 (敬称略)】  
株式会社オオモリ 平成23年9月21日入会  
株式会社釣王 平成23年9月21日入会  
株式会社フィッシャーマン 平成24年3月7日入会



## 【役員表彰】

20年 藤井 治幸 会長（理事3年・副会長2年・会長13年）

### 1-2 広報・宣伝に関する事業

- ①釣竿公正マーク広報ポスターを作成し会員企業の皆様のご協力により、日本全国の釣具店様、釣り宿店様、釣り船店様、管理釣り場様等に配布、掲示を行った。（春夏5,000枚、秋冬5,000枚 合計10,000枚）
- ②業界紙（釣具界・日本釣具新報・釣具新聞）に釣竿の適正な表示に取り組む会員企業一覧を出稿した。釣り雑誌（地域誌：週刊つりニュース関東版、つり人6月号、釣り画報5月号、釣ファン6月号、専門誌：つり情報5/15、ルアーマガジン6月号、へら専科6月号、アングリングファン7月号）にはポスターに公正マークの説明を加えた広告を出稿した。インターネット釣り情報サイト（TSURI HACK：トラウト管理釣り場入門、つりそくニュース：海上釣堀）には、釣り入門者層をターゲットに公正マーク、釣竿からの感電注意を内容とする広告を出稿した。
- ③釣りフェスティバル（横浜）、フィッシングショーOSAKA（大阪）に加え、西日本釣り博（北九州）に初めて出展を行った。フィッシングショーでは、公正マークの紹介、釣竿からの感電に注意についてパネルや動画を用いて展示を行った。

横浜、大阪のフィッシングショーでは、釣竿の適正な表示を推進する会員企業を回っていただき、釣竿公正マークデジタルスタンプラリーを開催した。横浜会場は15社、大阪会場は19社の会員企業にご協力いただいた。スタンプを集めていただいた来場者の皆様には、釣竿公正マーク特製クリアホルダーをプレゼントした。釣竿公正マークについてのアンケートもこのシステム内で実施し、回答数は350件であった。アンケートにお答えいただくと、抽選で人気家電や、公正マーク付のノベルティグッズ（水筒）をプレゼントした。

オンラインフィッシングショー（横浜）では、オンラインサイトに当協議会のバナーを設置した。
- ④会員企業の皆様のご協力で、26社が11月30日11時30分に各社SNSにて一斉に公正マークを投稿した。ご協力いただいた会員の皆様方に御礼を申し上げます。
- ⑤1月20日（金）から1月22日（日）、2月3日（金）から2月5日（日）まで、釣竿公正マークについてのアンケートを実施した。回答数は350件であった。釣竿を購入する際、公正マークが貼付されていることを考慮しますかの質問について、75%の方が考慮する、公正マークが貼付されている釣竿については、半数以上の回答者が信頼できる釣竿であると回答した。アンケート回答者には抽選で、人気家電や釣竿公正マーク付きノベルティグッズなどをプレゼントし、一部の当選者のSNSでは、当選の喜びとともに公正マークを紹介してい



た。

### 1-3 調査指導に関する事業

#### ①第15回会員対象調査の実施

12月22日に46社にご協力いただき47本の調査を行った。

#### ②店頭調査の実施

コロナ下で中止していた店頭調査を、関東地区、関西地区それぞれ2店舗（合計4店舗）で実施した。

#### ③調査結果の送付

理事会及び調査指導委員会合同で調査報告会を実施したのち、調査結果表を送付した。

#### ④釣竿の繊維含有率検査の実施

2年に1度の輪番制にて実施していた釣竿の繊維含有率検査は、コロナ下で中止していたが、再開することになった。検査はこれまで同様、一般財団法人カケンテストセンターに委託し実施した。16社に会員企業にご協力いただいた。

#### ⑤感電事故防止策

感電注意マークの表示のないもしくは貼付方法が不完全な釣竿については、調査結果表にて改善を促した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第1号議案は満場意義なく可決承認された。

### 第2号議案 第39期(令和4年度)決算報告について(39頁~44頁)

議長の指名及び橋本 会計理事が資料に基づき 第2号議案の報告を行った。

①貸借対照表	流動資産合計	26,895,144 円
	固定資産合計	15,770,587 円
	資産合計	42,665,731 円
	流動負債	1,285,765 円
	正味財産合計	41,379,966 円
	負債及び正味財産合計	42,665,731 円
②正味財産増減計算書	経常収益計	26,359,352 円
	経常費用計	28,005,414 円
	(事業費支出)	20,544,305 円
	(管理費支出)	7,461,109 円
	当期経常増減額	-1,646,062 円
	正味財産期末残高	41,379,966 円

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第2号議案は満場意義なく可決承認された。

第3号議案 第39期(令和4年度)監査報告について (45頁)

議長の指名により、玉越 和夫 監事が資料に基づき第3号議案の報告を行った。

令和5年4月21日(金曜日)に提出された令和4年度決算報告書(すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録)を橋本会計理事立ち合いのもと、玉越監事及び 姫野 監事が監査した結果、いずれも適法かつ適正と承認した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第3号議案は満場意義なく可決承認された。

第4号議案 第40期(令和5年度)事業計画(案)について (47頁~50頁)

議長の指名により、事務局が資料に基づき第4号議案の説明を行った。主に令和5年度新たに実施する項目について説明を行った。

4-1 釣竿の表示に関する公正競争規約と施行規則等に関する事業

①公正競争規約の遵守

規約の内容について実情に合致しているかどうかの検討を行う。

4-2 広報・宣伝事業に関する事業

①公正マークのPR

釣りタレントを起用した公正マーク周知広報ポスター(春夏5,000枚、秋冬5,000枚 合計10,000枚)を作成し、会員企業の皆様のご協力で、日本全国の釣具店様、釣り船店様、釣り宿店様、管理釣り場様等に配布、掲示を行う。

②釣竿公正マークの同日同時刻(11月30日(水)11:30)SNS一斉投稿の実施を、会員企業の皆様にお願ひする。

③フィッシングショーの会場にて、来場者に釣竿の適正な表示に取り組む会員企業を訪れていただくきっかけづくりを行う。

④釣竿からの感電事故防止について、踏切だけではなく、別なシチュエーションの感電事故防止のPRを検討する。

⑤フィッシングショーの会場にて、会員企業の皆様と当協議会ブースが連携できる施策を行う。

⑥当協議会ホームページのセキュリティレベルの向上を図っていく。

4-3 関係官庁及び関連団体との連絡、協調に関する事業

①会議、セミナー等に参加し、連携を行う。

4-4 会員募集

①引き続き会員増加の取り組みを検討していく。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第4号議案は満場意義なく可決承認された。



第5号議案 第40期(令和5年度)収支予算書(案)について (51頁)

議長の指名により、事務局が資料に基づき第5号議案の説明を行った。

事業活動収入合計	25,932,500円	(対R4年度決算額 98%)
事業活動支出合計	26,582,621円	(対R4年度決算額 95%)
(事業費支出)	18,220,000円	(対R4年度決算額 89%)
(管理費支出)	8,362,621円	(対R4年度決算額 112%)
事業活動収支差額	-650,121円	(対R4年度決算額 39%)
一般正味財産期首残高	41,379,966円	
一般正味財産期末残高	40,729,845円	(対R4年度決算額 98%)
正味財産期末残高	40,729,845円	(対R3年度決算額 98%)

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第5号議案は満場意義なく可決承認された。

第6号議案 釣竿の表示に関する公正競争規約の検討について

議長の指名により、事務局が、配布資料及び投影資料に基づき、第6号議案の説明を行った。

法令等の改正、関係各省庁の見解等、また消費者及び会員企業から質問などに釣竿の表示に関する公正競争規約が対応できているかどうか検討を行いたい。

- ①総務委員会内に規約内容、改正検討を行う会議体を設ける。  
(総務委員会委員長・委員については臨時理事会で承認)
- ②総務委員会にて改正の要否を検討し、理事会にて報告を行い改正に必要がある場合は、定時総会に上程し検討を行う。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第6号議案は満場意義なく可決承認された。

第7号議案 当協議会会則改正について

議長の指名により、事務局が、配布資料及び投影資料に基づき、第7号議案の説明を行った。

下記内容の改正について理事会に一任いただきたい。

- ①第16条第2項 定時総会開催時期 事業終了後60日以内→90日以内
- ②第25条第2項 事務局長選任規定の追加
- ③オンライン会議規定の追加
- ④文言の適正化・修正

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第7号議案は満場意義なく可決承認された。

第 8 号議案 役員（理事・監事）選任について

議長の指名により、総務委員会 藤井 治幸 委員長が配布資料及び投影資料に基づき説明を行った。

第 39 回定時総会をもってすべての役員が任期満了となる。第 16 回、第 17 回総務委員会において役員選考委員会を開催した結果、下記の皆様を役員として推薦する。

役 職	氏 名	所 属
理 事	藤井 治幸	株式会社がまかつ 代表取締役社長
	塩澤 直人	株式会社天龍 代表取締役社長
	橋本 俊哉	株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役
	鈴木 隆	株式会社リチャーズ 代表取締役
	鈴木 健一	株式会社上州屋 代表取締役
	櫻井 孝行	櫻井釣漁具株式会社 代表取締役社長
	谷山 令一	谷山商事株式会社 代表取締役社長
	宇崎 隆	株式会社宇崎日新 代表取締役社長
	加藤 慶太	株式会社ジャクソン 代表取締役社長
	鈴江 浩康	グローブライド株式会社 取締役 常務執行役員
	高田 務	株式会社シマノ 品質保証部 次長
	宮澤 政純	マルキュー株式会社 取締役 工場長 （新任）
	小松 智昭	一般社団法人日本釣用品工業会 専務理事
監 事	玉越 和夫	株式会社スミス 専務取締役
	姫野 哲司	株式会社ティムコ フィッシング部 企画開発課長

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 8 号議案は満場意義なく可決承認された。

ここで一時第 39 回定時総会を中断し、別室にて臨時理事会を開催した。臨時理事会終了後、第 9 号議案から再開した。

#### 第 9 号議案 当協議会内役職について

議長の指名により、事務局が第 9 号議案について説明を行った。

臨時理事会にて会長、副会長、専務理事、会計理事が下記の通り決定した。

役職	氏名	所属
会長	藤井 治幸	株式会社がまかつ 代表取締役社長
副会長	塩澤 直人	株式会社天龍 代表取締役社長
副会長	橋本 俊哉	株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役(新任)
専務理事	小松 智昭	一般社団法人日本釣用品工業会 専務理事
会計理事	橋本 俊哉	株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 9 号議案は満場意義なく可決承認された。

#### 第 10 号議案 その他

その他については、議長が議場に提案事項等を求めたが、特になかった。

以上をもって第 39 回定時総会の全部の議案の審議が終了したため、議長は第 39 回定時総会の閉会を宣言した。

令和 5 年 5 月 17 日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、捺印する。

全国釣竿公正取引協議会 第39回定時総会議事録

議長理事 会長 藤井 治幸

藤井 治幸 

議事録署名人 副会長 塩澤 直人

塩澤 直人 

議事録署名人 会計理事 橋本 俊哉

橋本 俊哉 

————— 以下余白 —————